

2022～2023年度 小倉中央ロータリークラブ週報



第1298回 本日の例会 5月 8日(月)

本日の卓話 「DX時代のロータリークラブ」

第2700地区地区DX推進委員会 田村 志朗 委員長

例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
 TEL 093-531-4015
 FAX 093-531-1022

会長の時間 (4月17日 1297回 例会記録) 林田会長

出席報告 4月17日

稲盛和夫の「生き方」について

今度は何のお話しをしようかしらと思ったとき、一冊の本が目にとまりました。稲盛和夫の「生き方」という本です。

「私たちは今不安の時代を生きています。豊かなはずなのに心は満たされず、衣食足りているはずなのに、礼節に乏しく、自由なはずなのにどこか閉塞感がある。やる気さえあれば、どんなものでも手に入り何でもできるのに、気が悲観的になる。多くの人が生きる意味や価値を見出せず人生の指針を見失っている。」そんな言葉で始まっていました。

魂を磨いていくことがこの世を生きる意味がある。この世に何をしに来たのかと問われたら、生まれた時よりも少しでもましな人間になって死んでいくためだと答えます。労苦とは、おのれの人間性を鍛える絶好のチャンスです。単純な原理原則が指針となる。

自分が27歳のときに京セラを周囲の方々につくっていただきましたが、私は経営の素人で、その知識も経験もなかったので、正しいことを正しいままに貫いていこう、うそをつかない、人に迷惑をかけない、正直で欲張ってはならない、子供のころに親や先生から教わったことです。そのシンプルな基準を経営の指針に据えて守るべき判断基準としました。

人生の真理は懸命に働くことで体得できる。精進する事、一生懸命働くこと、目の前の仕事に打ち込む事が大切です。人生をよりよく生き、幸福という果実を得るには、次のことが大切である。

・仕事の成果は足し算ではない。

・考え方×熱意×能力＝人生の仕事の結果

人生は心に描いたとおりになる、強く思ったことが現象になって現れてくる、という「宇宙の法則」があります。

人生、良い思いを描く人には良い人生が、悪い思いを持っているれば人生うまくいかなくなるのです。20年や30年という長いスパンでみていくと、たいいていの人の人生はその人が思い描いたとおりになっているものです。

松下幸之助さんの講演を聞いたときの話も書いていました。有名なダム式経営の話です。ダムを持たない川というのは大雨が降れば洪水を起こす。日照が続けば枯れて水不足になる。だからダムに水をためて天候や環境に左右されることなく水量を一定にする。経営も景気の良いときこそ、悪い時に備えておく、そういう余裕のある経営をすべきだというような話をされたそうです。

そこで、稲盛さんは松下さんに質問したそうです。「どうしたら、ダムに水をためることができるのか?」と。

そうすると、「そんな方法、私も知りませんのや。知りませんがダムをつくらうとせねばあきませんな。」と答えたそうです。

まだ今本を斜めに読んでいるところですが、80歳もなって分かってない事がいっぱいあるなあと思ひながら思いました。

在籍会員数	44名
義務出席者	41名
ゲスト	0名
ビジター	2名
本日出席数	34名 オンライン 1名
本日出席率	85.36%
前々回修正出席率	83.33%

次回の例会は、5月15日(月)

鈴木 賢一 会員

5月のお誕生日

28日 友田 信明 会員

29日 巫部 祐彦 会員

今月の主な予定

1日(月) 次年度理事・委員長会議

8日(月) 定例理事会

10日(水) 二水会

27日(土) ソフトボール&BBQ

幹事報告

古川幹事

- ・4月23日(日)は、地区大会です。
10:00～ 北九州ソレイユホールです。
- ・4月24日(月)は、振り替えのため、休会です。
5月1日(月)もゴールデンウィーク期間中ですので、休会です。
- ・次回例会は、5月8日(月)となります。

卓話の時間

「自己紹介～これまでを振り返って～」

上田 泰博 会員



昨年11月に入会させていただきました上田でございます。

まず初めに会社の紹介からさせていただきます。

創業は1946年7月7日、今年で77年になります。プレキャストコンクリート（コンクリート二次製品）製造販売及び関連商品の販売をしております。

国内に3工場（門司、小倉、熊本に各1工場）、昨年4月からインド（アウランガバード）工場が稼働を始めました。まずは、100年企業を目指しインフラ整備に微力ながら貢献していきたいと思っております。

さて、私は1953年6月24日生まれ、今年の誕生日で「古希」を迎えます。この卓話担当のお話をいただき、自分自身を見つめ直したとき、皆様方にお話しできるようなことは何もないなと気づかされました。唯一自慢できるのは、ホールインワンをほんの3回達成したことくらいです。これもただの運だけですけれど……。ですので、この後は今まで私が描き留めてきた言葉や詩、心に残ったCMなどをお話したいと思っております。桜の花は散り、すっかり葉桜になってしまいましたが、最初にご紹介するのは桜にまつわる言葉からです。

過去が咲いている今、未来の蕾で一杯な今

陶芸家 河井寛次郎

桜の季節になるといつも思い出される「今」を現わしている素晴らしい言葉です。今、目の前に咲き誇っている花は、これまで成長を続けた結果です。少し遅れてほころび始めているたくさんの蕾は、将来咲き誇る花の今の姿です。過去、今、未来は連続しているもので、私達は今以外に存在出来ないのです。過去の努力が現在の姿をつくり、現在の努力はそのまま未来の姿を約束しています。今を咲き、未来に咲き続けようとするその一途な努力が人生の質を決めるのでしょうか。だから、今はできる限りのことをやらなければならないと思っております。過去の自分のためにも、未来の自分のためにも、今を精一杯生きる事が大切であると思っております。そして、今も含めて、今までの積み重ねが未来につながっています。「蕾」という言葉を聞いて、今の自分の行いでどんな蕾

が未来で花咲くのでしょうか。「蕾」と「希望」が一体化された素敵な言葉で心がほっとします。

楠千年、さらに今年の若葉かな

萩原井泉水

この句には二つの意味があります。

一つは千年もたったのかと思われる大きな太い幹の老木の楠で、衰えを見せる樹齢なのに今年も昨年と変わらず、いや昨年よりもさらに盛大に勢いよく若葉が芽吹いているというものです。

もう一つは古い葉は、まだまだ名残惜しくて木にとどまっていたいでしょう。しかし間近に芽を吹いてくる我が子のために新しい命の誕生のために潔く住み慣れた枝からはらはらと風もないのに散っていくという人間の親から子へのバトンタッチを現わすものです。

そして、私の好きなCMの中から・・・（セイコー）

真実の言葉はいつも短い。

言葉は飾るほど、嘘になる。言葉は語るほど、思いとはどこか形を変えてしまう。混じり気のない、シンプルな言葉にこそ、人間の本質が宿るのかもしれません。

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることがある。

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で、しあわせにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることもある。

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになる時がある。

たいへん雑駁なお話になりましたが、最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。

ニコニコ献金報告

累計 557,600円

小倉 RC 森様、山根様—NPO 法人北九州グランドフィルハーモニー管弦楽団の第4回定期演奏会のお知らせとお願いにやってきました。皆様へすてきな音楽をお届けいたしますので、是非たくさんの方に聴いていただけたら幸いです。

林田・古川・野口会員—上田会員、本日の卓話、楽しみにしています。よろしく願います。

網田会員—子供が二度目のスペイン遠征から元気に帰国しました!!
巫部会員—昨、一昨日で春の大祭が終わりました。ホッとしています

合計 14,000円